

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 薬円台教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

| 強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や終礼に職員間で支援内容の振り返りを行っている。 職員間で目標達成の設定をしている。 ・教室全体でどうしたら良くなるか組織で動くことが出来ている ・職員の資質向上を図るために、研修を受講する機会があり支援の向上を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で振り返りを実施し、様々な視点で支援に繋がっています。 案を全員で出し、目標設定を行っています。 ・事例を出し、期間を定めて支援を行っています。 ・資質向上のための研修が年内に数回計画されており、定期的に学ぶ機会が設けられています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・次の目標や個別支援計画を頭に入れながら、振り返りや支援を行っています。 ・資質向上のための研修を形骸化させないため、プログラムや児童の取り組む日々のルーティン内に、研修で実施した内容を組み込むことを検討します。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・活動の目的やねらいを意識したプログラムを作成している ・必要に応じて、学校・保育所・相談支援等と連携を取れている | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性や狙いを決めて、プログラムを作成しています。 ・送迎時、共有を行っています。 また送迎時に難しい場合は電話を行い、連携を取ることができています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施し、ご要望のプログラムを参考に導入してまいります。 ・引き続き連携を行っていき、よりよい信頼関係を目指していきます。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・支援内容について、保護者と定期的に情報共有を行っている ・家族等からの要望を聞き、必要な支援を共有し行っている。 ・災害時に備えた避難訓練が実施されている ・ケガや急病時対応手順を把握することができている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは、送迎時・電話・HUGにて相談していただけるよう各種媒体を整備し、相談が円滑に行われるよう工夫しています。 ・避難訓練は毎月1回、集団療育プログラムにおいて実施しており、災害に備えて定期的に行っています。 ・拠点で事例共有を行い、対応できるように努めています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・気になる点があれば、早急に連絡を取り信頼関係向上に努めていきます。 ・拠点で使用しているマニュアル等を周知し、安全面の向上に繋がっていきます。 |

| 弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 拠点として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・お子様に分かりやすく（構造化）、安心して過ごせる環境（物理的・心理的）が整っていない | <ul style="list-style-type: none"> ・相談室が、クールダウンスペースとして活用することが出来ていません。 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談室の整理実施、児童の求めや職員の判断で、即時にクールダウンのできる場所として提供できるように環境を整えます。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・お子様の活動内容や発達段階に応じたスペース（発達支援室・個別の部屋や場所）が確保されていない | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム、自習時間、自由時間の過ごす場所のスペース確保が十分に確立できておらず、運動する児童と座って遊ぶ児童が同じエリアに存在してしまうことが稀にあり、けがやトラブルを誘発するきっかけになりかねません。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教室のお約束やスケジュールを用いて、児童にわかりやすい形で可視化し、安全確保します。 |